

2 **視点**
ふるさとの発展に全力を尽くして
■廣川建設工業(株) 代表取締役 廣川 範樹

3 **トピックス**
令和5年度
阿賀川総合水防演習
■北陸地方整備局

5 **地域の動き**
信濃川下流域を水害から守る3つ目の拠点が完成！
天野河川防災ステーション開所式
■北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所

7 信濃川水系(千曲川)緊急治水対策プロジェクト
上今井・埴生遊水地整備起工式
■北陸地方整備局 千曲川河川事務所 千曲川緊急治水対策出張所

9 一時保護所を増築し供用開始
児童相談所庁舎整備改修事業について
■新潟市建築部公共建築課

11 **技術レポート**
住民避難を伴った道路災害復旧事業及び災害関連緊急治山事業
阿賀町東山地区で発生した地すべりへの対応
■新潟地域振興局津川地区振興事務所

13 R2能越道 中道路その13工事の取組について
■(株)宮地組 監理技術者 池下 幸輝

17 加熱アスファルト混合物の薄層化・高度利用に向けて
ひび割れの抑制効果に優れた薄層舗装
「クラックシールMix」の開発
■日本道路(株) 北信越支店



災害対策用ヘリコプターによる河川流域調査▶P.3



天野河川防災ステーション 全景▶P.5



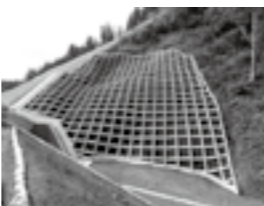
式典後イベント▶P.7



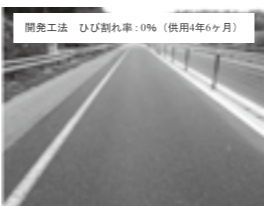
プレイルーム(幼児エリア) ▶P.9



恒久工事完了写真▶P.11



法面復旧工事 完成▶P.13



路面状況▶P.17



■関越自動車道 中之島橋床版取替工事

【関越自動車道 中之島橋(上り線)形式: 6径間連続RC中空床版2連+鋼単純合成鉄桁+鋼3径間連続箱桁+鋼単純合成鉄桁 橋長: 459m、(下り線) 6径間連続RC中空床版+5径間連続RC中空床版+鋼単純合成鉄桁+鋼3径間連続箱桁+鋼単純合成鉄桁 橋長: 446m】
現在、ネクスコ東日本では一級河川魚野川を横架する、関越自動車道 塩沢石打IC~六日町IC間の中之島橋において、床版取替工事を進めています。
令和4年度に実施した床版取替工事では、箱桁部が非合成桁、鉄桁部が合成桁のため、床版撤去時の施工の効率性と経済性の観点から、非合成桁部と合成桁部との施工時期を分けて工事を行いました。
また、床版取替工事にあたり関越自動車道の交通を対面通行規制に切替え、24時間体制で交通監視の強化を図るなど、高速道路を利用されるお客様への安全に万全を期して、慎重に工事を進めています。

19 シリーズ
現場技術者の「知得」
北陸地方整備局における令和5年度の
i-Constructionの取り組み方針について
■北陸地方整備局 企画部 技術管理課



ICT普及促進型工事における講習会状況▶P.19

21 **職場紹介**
~道をつくり、街をつなげ、その先の未来につなげる~
この道の先にある、拡がる未来へ
■加州建設(株)



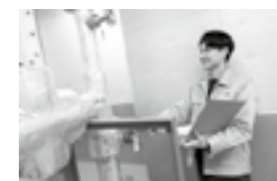
クリーンビーチいしかわ ▶P.21



国道49号 揚川橋新設工事 (新潟県) ▶P.23

23 「想い」を築く仕事。
大本組の概要と新潟営業所のご紹介
■(株)大本組 新潟営業所

26 **先輩なう!**
人と環境にやさしい建物づくり
■新潟市建築部公共建築課 高橋 大 さん



新潟市建築部公共建築課 高橋 大 さん▶P.26

28 **新技術情報**
■Made in 新潟 新技術普及・活用制度
・高エネルギー吸収型ポケット式落石防護網 (強靭防護網(きょうじんぼうごあみ))
【登録番号: 2022D201】
シビル安全心(株)、(株)シビル 他



高エネルギー吸収型ポケット式落石防護網(強靭防護網(きょうじんぼうごあみ)) ▶P.28



専用バケットを用いた砂浜緑化工法(はまドリル) ▶P.29

29 専用バケットを用いた砂浜緑化工法(はまドリル)
【登録番号: 2022D202】
グリーン産業(株)、(有)丸高重量



「i-Construction (アイ・コンストラクション)」とは?

国土交通省では、建設現場で働く労働者一人一人の生産性を向上させ、魅力ある建設現場を実現する「i-Construction」の取り組みを進めています。

「i-Construction」は、「ICT技術の全面的な活用」、「規格の標準化」、「施工時期の平準化」等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセスの最適化を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取り組みです。

本誌では「i-Construction (アイ・コンストラクション)」に関連する取り組みや建設現場などの記事を読者の皆様にわかりやすく知って頂くために、当該記事に上記ロゴを表示しています。

※このロゴは平成30年6月1日に国土交通省が決定したロゴです。建設業界はもちろん、業界を超えて社会全体から応援される取り組みへと「深化」するシンボルとなっています。

「北陸の建設技術」への意見、ご感想がありましたらお聞かせください。
E-mail:hokugi@hrr.mlit.go.jp